



「世界の終わり」を回避する ための真の選択肢を探る

気候危機を乗り越えるためには、「正しいことが」が主張されるだけでは不十分である——。見田宗介の〈高原の見晴らし〉と斎藤幸平の〈脱成長コミュニズム〉を架橋することで、資本主義の時間論を編み直す。大澤論文＋斎藤・大澤対談で構成。

未来のための終末論

大澤真幸、斎藤幸平：著 左右社

四六判並製 176頁 2023年7月刊 ISBN:9784865283754 1,760円



日常のなかでの 感覚体験の重要性を綴る

希望のありかに目を凝らし、非日常を遊ぶ——。ベルリンに暮らす「感覚体験デザイン」の国際的先駆者である著者。日々の暮らしのなかの微細な環境の変化を知覚し、そこから導きだした新しい時代を生きるための生活哲学について、エッセイと写真で語りかける。

見えないものを知覚する — これからの生活哲学

阿部雅世：著 平凡社

B6判上製 144頁 2022年8月刊 ISBN:9784582839043 2,750円



マイケル・サンデル激賞！ 新しい社会へ赴くための処方箋

新自由主義の四十年から訣別し、〈新しい社会〉へ赴くための処方箋。「この重要な著作は、私たちがより公正で、回復力のある社会を築こうとするなら、『リセット』ではなく、資本主義の根本的な再考が必要であることを教えてくれる」（マイケル・サンデル）

未来救済宣言 — グローバル危機を越えて

イアン・ゴールドフィン：著 矢野修一：訳 白水社

四六判並製 358頁 2022年9月刊 ISBN:9784560094563 3,080円

* 価格は10%税込、2024年3月のものです。

出版社クイズ

なんていう名前の出版社かわかりますか？

- ①創業は1877（明治10）年。学問好きな藩士が京橋で書店修行の後に、大名屋敷が建ち並ぶ神田神保町に「大学がこぞって開校する」との見込みで開業を決意。爆当たりとなる。
- ②貧乏学生が来れば金を工面する、学生達は学者として育ち、教科書を書く。それを次の学生に売る。使用済みの教科書は卒業時に買い取りそれも売る。その実は常に学問に寄り添いたいという一心。創業初期から教科書は脈々と続いている。
- ③現社長は6代目。新潮社で6年間、営業と業務を修行。創業130年を迎えた2007年に社長就任。「うまく担がれる神輿でいたい」が信条。トップダウンではなく現場からあふれ出るパワーが次の世界を切り拓くとの信念から。日頃から心身の切り換えも大事と空手の道を修める。

* クイズの答えは次号(20号)=梓会加盟出版社を紹介してゆきます

クイズの答え



今日まで、日本の出版界は「大学」が中心で、学問的な書籍が主流でした。しかし、最近では「社会」が中心になり、社会問題や社会運動に関する書籍が注目されています。これは、社会が変化していることを反映しています。出版界は、社会の変化に合わせて、新しい分野を開拓する必要があります。そのためには、学問的な書籍だけでなく、社会問題や社会運動に関する書籍も積極的に出版する必要があります。出版界は、社会の変化に合わせて、新しい分野を開拓する必要があります。そのためには、学問的な書籍だけでなく、社会問題や社会運動に関する書籍も積極的に出版する必要があります。

有斐閣

最近の公式ウェブサイト

* 梓会加盟出版社を紹介してゆきます

梓会 カモノハシ 通信

Azusa-kai Library Club



書店は本の森。出版梓会は、事典から絵本までユニークな本を丁寧に作る出版社の集まりです。この葉では毎回テーマを決めて、読書の愉しみを、ひとりの時間を極上にしてくれるお宝本を、こっそりお教えします

戦争、事故、災害、異常気象……。

今回のテーマは
希望の書をみつけよう
です。

地球は、未来は、だいじょうぶ？
と思っているあなたに。



19号(2024年3月)
出版梓会

データダウンロードはこちら⇒





データや事実を見れば、 たくさんのよいニュースがある

戦争、洪水、貧困……世界は恐ろしいニュースにあふれている。世界はほんとにお先まっ暗なの？ 答えはNO！ 学校に通う子どもの数も一番多いし、女の子の数も一番多い。清潔な水やトイレを利用できる人の数も今までで一番多い。世界や人間は捨てたものじゃない。

それでも、世界はよくなっている
ラシュミ・サーデシュパンデ：著 神田由布子：訳 亜紀書房
A5判並製 176頁 2022年5月刊 ISBN:9784750517391 1,980円



われわれはガイアの一員として いかに生きるべきか？

「ひとつの生命体としての地球＝ガイア仮説」は、NASAの宇宙計画に参画した著者が、大気や海洋分析、システム工学などを駆使して提唱。環境問題の盲点を洗いだし、ガイアの一員としての人類の課題をクローズアップする。地球の未来を考える記念碑的名著。

地球生命図 ― ガイアの科学【新装版】
ジェームズ・ラヴロック：著 星川 淳：訳 工作舎
四六判上製 304頁 2023年11月刊 ISBN:9784875025597 2,750円



社会の課題も、自分の悩みも ヒントは「学問」から見出せる

「環境」「貧困」「テクノロジー」「ジェンダー」を軸に、経済学・政治学・法学・社会学のそれぞれの特色、着眼点、アプローチの仕方、問題意識を伝える。文系学部への進学を考える高校生、現代社会の課題と向き合うヒントを得たい読者に。

世の中を知る、考える、変えていく ― 高校生からの社会科学講義
飯田 高、近藤絢子、砂原庸介、丸山里美：編 有斐閣
四六判並製 332頁 2023年7月刊 ISBN:9784641126459 2,420円



世界の食料生産に革命を起こす！とフィンランドの「Solar Food」社が CO₂ を栄養源とする微生物たんぱく質「ソレイン」を開発！「味の素」と提携、商業展開するって？



全人類が1人の巨人に！ 地球の未来は？！

超巨人になった〈わたしたち〉は地球の未来のために何ができるかな？ 斎藤幸平先生（東京大学准教授、『人新世の「資本論」』著者）推薦——「すごい科学実験から見えてくる現実と、この地球で、みんなが仲良く生きていくためのヒント。」

大きな 大きな 大きな 足あと ― もし全人類がひとりの超巨人だったら
ロブとトム・シアーズ：著 きたむらさとし：訳 創元社
B5判変型上製 96頁 2022年11月刊 ISBN:9784422760711 2,420円



「ここではないどこか」への 想像力を解放せよ。

物語の力とともに、自由な思考と戯れる——意味や価値のわからない仕事を再生産し続ける「制約事項」を爆破し、「本当のイノベーション」に向かって考える自由を取り戻すために。気鋭のSF作家であり、ITコンサルタントである著者が贈る理論と実践の書！

未来は予測するものではなく創造するものである ― 考える自由を取り戻すための〈SF思考〉 樋口恭介：著 筑摩書房
四六判並製 272頁 2021年7月刊 ISBN:9784480864765 1,980円



耕さない農業があなたのお腹と 世界を救うのはなぜだろう？

植物と菌根菌（きんこんきん）の4.5億年にわたるパートナーシップ、作物と土壤微生物が、根圏（こんけん）での地下世界通貨であるカーボンと、さまざまなミネラルや窒素とのやり取りを通じて繰り広げる、めくるめく地中ワンダーランドをご案内！

土が変わるとお腹も変わる ― 土壤微生物と有機農業
吉田太郎：著 築地書館
四六判並製 265頁 2022年3月刊 ISBN:9784806716310 2,200円



世界20カ国で翻訳！ SDGsの学びに最適！

イギリス国王が提唱する持続可能な社会へのメッセージや、世界各国から選ばれたアーティストたちによる多様な世界観が広がる絵本。子どもたちの明るい未来も、自然、人、地球にとっていい社会をつくることも私たち次第なのだと思わせる一冊。

未来をつくるのはわたしたち ― 自然、人、地球をまもるおやくそく
クリストファー・ロイド：作 永田佳之：訳 山川出版社
26×24cm上製 64頁 2023年2月刊 ISBN:9784634140035 3,300円



今こそ知りたい ウクライナの 美術と文化のすばらしき世界

さまざまな民族が交わって共存し独自の文化や芸術が育まれたウクライナ。ウクライナ正教会の建築や美しいアイコン、ウクライナ・アヴァンギャルドの美術…。歴史や都市物語、文学をまじえた豊富な解説、多彩な図版とともに、豊饒なウクライナ美術の世界をたどります。

ウクライナに愛をこめて ウクライナ美術への招待
海野 弘：著 パイインターナショナル
A5判並製 320頁 2022年11月刊 ISBN:9784756256911 2,750円



自由は時に厳しく、時に心地よく、 不安を煽り、幸福をもたらす

「自由は常に貴方の傍らに存在」し、私達が「その存在を思い出すことを待っている」と著者は言う。失ったことさえ気づかぬまま来てしまった私達が自らの無関心で失った精神の自由に気づくこと、それこそが真の自由人になるための第一歩だと教えてくれる好著。

社会的嘘の終わりと新しい自由 ― 2030年代の日本をどう生きるか
渡瀬裕哉：著 すばる舎
四六判並製 320頁 2023年4月刊 ISBN:9784799109427 1,760円